

平成 29 年度東京都入札監視委員会第 6 回制度部会審議概要

開催日及び場所	平成 30 年 1 月 29 日（月） 東京都庁第二本庁舎 31 階特別会議室 27
出席委員	<p>上智大学大学院法学研究科教授 楠 茂 樹</p> <p>東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授 小 澤 一 雅</p> <p>（元）品川リフラクトリーズ（株）代表取締役副社長 仲 田 裕 一</p> <p>弁護士（五十嵐・渡辺・江坂法律事務所） 原 澤 敦 美</p> <p>（敬称略・計 4 名）</p>
審議事項	<p>(1) 一般社団法人東京都中小建設業協会からのご意見及びご要望について</p> <p>(2) 試行状況の検証に関する意見交換</p> <p>(3) その他</p>
議案の概要	<p>本年度 6 月下旬から試行を開始している入札契約制度改革について、東京都及び東京都中小建設業協会と意見交換を行った。</p>
委員会による審議結果報告	—
事務局からの報告	特になし。
委員からの意見等の概要	<p>(1) 一般社団法人東京都中小建設業協会からのご意見及びご要望について</p> <p>① 発注の平準化の推進について</p> <p>② 安全衛生経費の確保について</p> <p>(2) 試行状況の検証に関する意見交換</p> <p>① 予定価格の事後公表について</p> <p>② 1 者入札の中止について</p> <p>③ J V 結成義務の撤廃について</p> <p>④ 低入札価格調査制度の適用範囲の拡大について</p> <p>(3) 入札監視委員会制度部会委員からの質問等</p> <p>【委員からの質問等】</p> <p>予定価格の事後公表に関して、発注規模を価格の幅で示している以上、積算の負担は増えてしまうのか、それとも価格の幅を狭めれば積算の負担は減らせるのか。</p> <p>【業界団体の発言】</p> <p>正しい積算、正しい工期設定と平準化が整った上で、公平性や競争性については正しい議論をなすのが、それらが欠落した中でどれだけ話をいじくっても、あまり発展的ではない。</p> <p>現在の工事発注規模の価格の幅は広すぎるということで、もう少し細かく刻んで発表してもらえると、判断がしやすい。</p> <p>【委員からの質問等】</p> <p>中小の皆さんは、大手ゼネコンと、仕事の仕方や体制がどう違うのか。あ</p>

るいは、仕事の内容がどう違うのか。

【業界団体の回答】

大手は管理職の管理だけだが、我々中小は直営の人夫を抱えて、末端で仕事をしている。したがって、我々は、地域の担い手、防災や除雪作業といった大手には難しい仕事をしっかりやっけていける。

【委員からの質問等】

中小の皆さんは、直備で作業員を抱えているという理解でよいか。また、機械は自身で持っているという理解でよいか。

【業界団体の回答】

機械、ダンプ・トラックやその置き場は、我々は自社で持っている。何かあったときはすぐ出動できる体制は常に持っていて、発注者と連携しながら地域の安全安心を守っている。

[その他]

特になし